

先生の「当たり前」の考え

「おめでとう。良く頑張ったね。」

私の手を取り、握手をしながら満面の笑みを浮かべそう言ったのは中学校生活3年間の中で一番私の考え方を教えてくれたO先生です。高校受験の合格発表後、合格者が集まる体育館で1人1人に「おめでとう」と笑顔でおっしゃっていました。私と先生が出会ったのは中学校入学式の日で、朝教室に行き「おはよう。」と今では聞き慣れたすぐに「O先生だ。」とわかる挨拶を交わしたときです。

しかし、O先生のことを知っている方に「一番怖い先生に当たったね。」と言われ、不安な気持ちで過ごしました。学校生活を送る中で私が見つけた先生は「怖い。」ではなく「悪いことは悪い。」とはっきり言う先生でした。そんなO先生に変えられた考え方は「積極的に動かなくても大丈夫。」という考えです。

小さい頃から内気な性格だった私は人前に出ることが好きではなく常に人と同じように行動をすることだけしてしていました。ですがO先生は違いました。県の体育関係の仕事など、する人がいないときには「私がします。」と言い、自ら引き受けて「らせていただいております。」という気持ちでされていました。その話を聞いたとき、自分と正反対の先生の考えに、私も少しだけでも積極的に動いてみれば考え方が変わるかとも思い委員会の委員長や副委員長をしてみました。

そこから少しの人数なら人前に出ることが平気になり内気な性格も変わってきました。O先生の「当たり前」が私を変えてくれて今でもとても感謝しています。

濱砂 凧紗

(高校生)